文部科学省後援 PDA 全国高校 即興型英語ディベート合宿・大会 2019　報告書

一般社団法人パーラメンタリーディベート人財育成協会（PDA）

日程：2017 年 8 月 7 日（水）～8 日（木）
（1 日目）練習 3 ラウンド、レクチャー、予選 1、レクリエーション、予備ラウンド
（2 日目）予選 2、予選 3、準決勝、決勝
会場：ホテルフクラシア大阪ベイ

主催：一般社団法人　パーラメンタリーディベート人財育成協会（ＰＤＡ）
後援：文部科学省、JST 未来社会創造事業（探索加速型）「知」の循環と拡張を加速する．
　　対話のメカニズムデザイン
助成：公益財団法人 日本財団、公益財団法人 KDDI 財団

参加校：

(千葉県)渋谷教育学園幕張高等学校,(東京都)富士見中学高等学校,(神奈川県) 神奈川県立柏陽高等学校, 神奈川県立相模原高校, 浅野学園中学高等学校, 栄光学園, 湘南白百合学園高等学校, 聖光学院高等学校,(栃木県)栃木県立佐野高等学校,(長野県)長野県松本深志高等学校,(福井県)福井県立藤島高等学校,(愛知県)愛知県立半田高等学校, 愛知県立岡崎高等学校,(奈良県)奈良県立奈良高等学校,(大阪府)関西創価高等学校, 大阪教育大学附属高等学校平野校舎, 関西大倉中学校・高等学校,(京都府)京都府立嵯峨野高等学校, 京都府立鳥羽高等学校,(兵庫県) 神戸大学附属中等教育学校, 雲雀丘学園高等学校, 神戸市立葺合高等学校,　(福岡県)福岡県立城南高等学校, 福岡県立八女高等学校,(山口県)山口県立大津緑洋高等学校, 山口県立宇部高等学校,(熊本県)真和高校,(宮崎県)宮崎県立宮崎北高等学校

(順不同)

開催趣旨：

〈高校生向けプログラム〉

本合宿・大会は、即興型英語ディベートの実践を中心としたプログラムで、集中的に「英語での発信力」、「論理的思考力」、「幅広い知識」、「プレゼンテーション力」、「コミュニケーション力」を鍛えます。大学生・大学院生をはじめとした補助スタッフによる手厚い指導も伴い、効果的に上記スキルを向上させます。合宿での集中実践の成果を効果的に発揮できるよう、後半には大会を設けています。また他校生徒との交流も深まります。

〈高校教員向けプログラム〉

本合宿・大会では、生徒のみならず、教員を対象としたプログラムを同時に進行させます。授業に導入できる即興型英語ディベートの手法を知っていただく、また即興型英語ディベート実践を経験していただくプログラムとなっています。授業での導入を前提とするため、合宿では一つのコマを約 50 分としています。また、さらに効果的なプログラムを共に開発するための意見交換会も設けています。

論題（論題は、毎回ディベート開始 15 分前にはじめて発表されます）：

論題 1 ：All P.E. classes should be outsourced at elementary and junior high schools.
（小中学校において、体育の授業はすべて業務委託とするべきである。）

論題 2 ：The number of classes taught by teachers should be reduced by half at high schools and universities, by introducing e-learning.
（e-learning を導入し、高校・大学教員の担当授業数を半減すべきである。）

論題 3 ：Mandatory paternity leave should be introduced.
（男性の育児休暇を義務化するべきだ。）

論題 4 ：NHK should be scrambled.
（NHK のスクランブル化を実現するべきである。）

論題 5 ：Gender and age should be removed in school application forms.
（入試願書における性別および年齢の記載を廃止すべきである。）

論題 6 ：Companies should encourage employees to wear a skirt at work.
（スカートで出勤することを推奨すべきである。）

論題 7 ：People should have a microchip implant in their own bodies.
（人体にマイクロチップを埋め込むべきである。）

論題 8 ：Companies should introduce the four-day-workweek system.
（会社は週休 3 日制を導入するべきである。）

1日目

開会式では、まず今回の参加校の紹介がなされました。学校の名前が呼ばれると、席を立ち「頑張るぞー！おー！」と叫び、気合いを入れる学校も見られました。そのあと、スタッフの紹介、合宿スケジュールの確認、ルール諸注意が行われました。今回は、授業の部、課外活動の部 初心者、課外活動の部 一般、教員の部の４部が同時並行です。授業の部においては、学校の通常授業において即興型英語ディベートに取り組んでいる学校を対象とし、普段の授業への積極的な参加の成果を発揮する場、また合宿で学んだことを各校に持ち帰られるシステムとしています。

開会式の様子①

開会式の様子②

練習ラウンド１の論題は「小中学校において、体育の授業はすべて業務委託とするべきである。」です。教員の部はラウンドをジャッジする先生、生徒の様子を見学する先生に分かれました。各生徒が、自分たちが小中学校に通っていたころを思い出しながらどのような議論ができるかブレストシート（アイデア出しシート）にメモしていきました。ディベートが終わると、他校の生徒と自己紹介をしたり、意見の共有をしたりする姿が見られました。

練習ラウンド１の様子

お互いの健闘を称え握手を交わします

練習ラウンド２の論題は「e-learning を導入し、高校・大学教員の担当授業数を半減すべきである。」です。現状における教員の負担、教育の質など様々な観点からディベートを行われました。

堂々と POI(質疑応答)！

ジャッジの先生からのコメント

練習ラウンド３の論題は「男性の育児休暇を義務化するべきだ。」です。ジェンダーや家族の事情など様々な観点からディベートが行われました。

ジャッジの目をみて堂々とスピーチ

教員も同じ論題でディベートを行います

生徒に対しては強いポイントのたて方について、教員に対してはジャッジの仕方、勝敗のつけ方、スコアのつけ方に関するレクチャーが行われました。

レクチャー（生徒）

レクチャー（教員）

夕食をはさみ、世界交流大会に向けたレクリエーションが行われました。今年はマジシャンの方によるマジックの披露と、家に帰ってからできるマジックの紹介がなされました。最後に、「マジックで一番大事なのはいかに聴衆を惹きつけるトークができるか。同じマジックでもトークがつまらなければつまらない。どうなるほどって思わせるかはトークにかかっている。だから常に見ている人、聞いている人を意識することが重要だと思う。」と締めくくりました。一日目の最後は、生徒の予選１です。予選１の論題は「NHK のスクランブル化を実現するべきである。」です。レクチャーで学んだことを早速予選に活かしていたチームもたくさんありました。

マジックを披露！

ジャッジを見てスピーチ

合宿内容が終了後、生徒の希望者は大学生スタッフのエキシビションディベートの観戦および大学生による相談コーナーに参加しました。エキシビションディベートでは、予選１試合目の論題について大学生スタッフがディベートを披露しました。相談コーナーでは進路に関する相談やディベートに関する相談などが高校生と大学生間で行われました。教員は意見交換会に参加し、自己紹介をはじめ、即興型英語ディベートに関する情報交換、交流を深めました。

大学生によるディベートの観戦

ディベートについて相談

2 日目

2 日目は朝から予選 2 が始まります。予選 2 の論題は「入試願書における性別および年齢の記載を廃止すべきである。」です。差別がなくなり平等な社会を実現するためには何が必要なのか真剣に議論を行いました。

積極的に POI を行います

堂々と POI をしています

続いて予選 3 です。予選 3 の論題は、「スカートで出勤することを推奨すべきである。」です。他の国での事例や日本の状況を例に出しながら、女性の社会進出や、クールビズ、男性のスカート着用など様々な議論が飛び交いました。

予選 3 の様子①

予選 3 の様子②

昼食前に、参加した教員の投票によって選ばれた教員によるエキシビションディベートが行われました。エキシビションディベートは「高校生はアルバイトすべきだ。」でした。教員の積極的な POI や深い分析などに見ていた生徒にも刺激になったようです。また、このエキシビションディベートの勝敗は、観戦していた生徒とその他教員によって決められました。今回は否定側の勝ちとなりました。

そのあと昼食を経て、準決勝進出チーム（授業の部、課外活動の部(一般)）、決勝進出チーム（課外活動の部(初心者)）の発表（ブレイクアナウンスメント）が行われました。

エキシビションディベート

教員も POI！

予選とは違い、多くの観客が見守る中、準決勝（授業の部、課外活動の部(一般)）、決勝（課外活動の部(初心者)）が開催されました。論題は「人体にマイクロチップを埋め込むべきである。」でした。その利便性やリスクについて活発な議論が交わされました。

準決勝でも POI！

決勝（課外活動の部 初心者）

いよいよ決勝です。決勝の論題は「会社は週休 3 日制を導入するべきである。」です。ワークライフバランス、女性の社会進出、仕事の負担や経済への影響などについて堂々とディベートを行いました。

決勝戦（授業の部）

決勝戦（課外活動の部 一般）

結果

チーム賞（授業の部）

優勝：　神戸市立葺合高校

準優勝：福岡県立城南高校 B

3 位：　大阪教育大学附属高校平野校舎

　　宮崎県立宮崎北高校

葺合高校

チーム賞（課外活動の部 初心者）

優勝：　栃木県立佐野高校 B

準優勝：聖光学院

城南 B

チーム賞（課外活動の部 一般）

優勝：　神奈川県立柏陽高校 A

準優勝：福井県立藤島高校・神戸大学附属中等教育学校

3 位：　神戸大学附属中等教育学校Ａ，Ｂ

佐野 B

ベストディベータ賞（授業の部）

- 宮崎北　————
- 大教大　————
- 大教大　————
- 葺合　————
- 葺合　————
- 城南 A　————
- 城南 B　————
- 城南 B　————

聖光学院

ベストディベータ賞（課外活動の部 初心者）

- 岡崎 A　————
- 岡崎 B　————
- 雲雀丘 A　————
- 雲雀丘 A　————
- 雲雀丘 B　————
- 雲雀丘 B　————
- 聖光学院　————
- 聖光学院　————

- 聖光学院 ――――
- 柏陽 B ――――
- 富士見 C ――――
- 富士見 C ――――
- 宇部 B ――――
- 真和・八女 ――――
- 嵯峨野 ――――
- 大津緑洋 B ――――
- 相模原 C ――――
- 佐野 A ――――
- 佐野 B ――――
- 藤島 B ――――

柏陽 A

ベストディベータ賞（課外活動の部 一般）

- 栄光学園 ――――
- 栄光学園 ――――
- 鳥羽 ――――
- 浅野 A ――――
- 浅野 B ――――
- 柏陽 A ――――
- 宇部 A ――――
- 宇部 A ――――
- 宇部 A ――――
- 富士見 A ――――
- 富士見 A ――――
- 富士見 B ――――
- 神大中 A ――――
- 神大中 A ――――
- 神大中 B ――――
- 神大中 B ――――
- 神大中 C ――――
- 関西創価 ――――
- 奈良 A ――――
- 奈良 A ――――
- 奈良 B ――――
- 松本深志 ――――

藤島･神大中

- 松本深志 ――――
- 大津緑洋 ――――
- 白百合 A ――――
- 白百合 B ――――
- 白百合 B ――――
- 藤島・神大中 ――――
- 藤島・神大中 ――――
- 藤島・神大中 ――――
- 藤島 A ――――
- 藤島 A ――――

POI 賞（授業の部）

- 城南 B ————
- 葺合 ————
- 大教大 ————
- 大教大 ————

POI 賞（課外活動の部 初心者）

- 嵯峨野 ————
- 宇部 B ————
- 富士見 B ————
- 富士見 C ————
- 雲雀丘 B ————
- 藤島 B ————
- 藤島 B ————
- 佐野 B ————
- 佐野 C ————
- 柏陽 B ————
- 岡崎 B ————

POI 賞（課外活動の部 一般）

- 藤島・神大中 ————
- 藤島 ————
- 白百合 A ————
- 関西創価 ————
- 神大中 A ————
- 神大中 A ————
- 神大中 C ————
- 神大中 C ————
- 柏陽 A ————
- 柏陽 A ————
- 浅野 A ————
- 浅野 B ————
- 浅野 B ————
- 藤島 A ————
- 奈良 A ————

エキシビションディベーター（教員）

- ———— 先生(栄光学園高等学校)
- ———— 先生（京都府立鳥羽高等学校)
- ———— 先生(関西創価高等学校)
- ———— 先生(聖光学院)
- ———— 先生(神奈川県相模原高校)
- ———— 先生(栄光学園高等学校)

アンケート（抜粋）

生徒の声

- 他校との差を埋めるために練習を頑張りたいと思いました。また、たくさん試合ができ楽しかったです。（相模原高校・2 年）
- 学校では普段ディベートをあまりしてないのでどういうふうにいったらより効果的かということがよくわかりました。すごく勉強になった 2 日間でした。（宮崎北・2 年）
- 他校との交流が出来て、非常に楽しかったです。また是非こういう機会があれば、参加してみたいと思います。ありがとうございました。（佐野高校・2 年）
- レベルの高い他校の人と当たれて勉強になりました。また大学生ディベートや教員ディベートの思考の深さに大変驚きました。（奈良高校・2 年）
- 様々な高校とディベートができ、ジャッジの先生のリフレクションを経て試合ごとに改善していけたのが良かったです。（神大中・2 年）
- 自分の英語の力が全然足りてないことが分かり、これから改善すべき点を見つけれたことが良かったです。貴重な経験ができました。（宮崎北・2 年）
- 初の参加で不安だらけでしたが、全国の学校の人と戦い、交流をすることが出来て、とても貴重な時間を過ごすことが出来ました。（佐野高校・1 年）
- やはり他校の生徒はとてもレベルが高くて、答えられなかったり上手く論を立てれなかったりしたけれど、2 日間英語漬けで色々な考え方もできるようになれたのでとても楽しかったです。ありがとうございました。（城南高校・2 年）
- 今回はレベルの高い大学生の方々のディベートを見たり、ジャッジをしていただけたりして良い経験になりました！そしてプロのジャッジの方にもジャッジをしていただけて貴重な経験になりました。本当にありがとうございました！（岡崎高校・2 年）
- まわりのレベルがとても高くいい刺激になった。なかには、毎日ディベートをしている人がいて、圧倒された。また、1 日目の夜には大学生のディベートを見せてもらい、各人の待ち時間は私たちの二倍の 7 分もあった。にもかかわらず、POI を断らなければならないほど、いうことが次々と出ていて、すごいという言葉以外は当てはまらない。また、あとで紙を見せてともらうと、メモくらいしか書いておらず、頭で英語の文書を作ると聞いた。僕もそれくらいのレベルになれたらいいなととても思いました。楽しい経験をありがとうございました。（雲雀丘高校・2 年）
- 大変有意義な 2 日間を過ごさせていただきました。これほど高いレベルの高校が集まって練習できる機会はそうそうないので、常に練習相手に飢えている私たちとしては大変ありがたかったです。公認ジャッジの先生方には、ひとりひとりにアドバイスをいただき、質問にも丁寧に答えていただきました。この合宿で学んだことや悔しい思いを糧にして、明日からの練習に取り組んでいこうと思います。（奈良高校・2 年）
- 他校と議論する機会が、私にとってはとても貴重な場だったので楽しかったです。ま

た、自分自身の改善点、反省点がたくさんあったように思いました。この経験を活かして、学校のディベートも頑張りたいです。（大教大・2 年）

- とても有意義な時間になりました。まだまだ頑張れるなと思ったし、同年代のレベルの高い子たちのディベートを聞いてとても刺激になりました。（葺合高校・2 年）
- 今回の合宿に参加することで、より多くの視点から自分の論理の偏りを正すことができました。非常に濃く、素晴らしい合宿をありがとうございました。（葺合高校・2 年）
- ジャッジもいつもと違う色んな方からしていただいてレクチャーもしていただけて大変勉強になりました。（松本深志高校・2 年）
- 様々な反省点が浮き彫りになったのでこれからの練習で意識していきたいです。（柏陽高校・2 年）
- 大会お疲れ様でした。課外活動から初心者の部に参加させて頂きました。授業の部の方とも対戦させていただいたのですが、とても論理的で強くて、授業のレベルがとても高いのだなと感じました。今日まで部活を通して沢山ラウンドをこなして復習する日々でした。プレパの時間の有効な使い方に連日悩んでいたのですが、7 日の夜の時間で大学生のディベーターさんに沢山の助言を頂けたので、それを 8 日の試合には活かせたかなと思います。来年の参加も是非させていただきたいです。運営ありがとうございました。（富士見高校・1 年）
- 色々な論題に触れることができてよかった。また、多くの生徒、ジャッジ、先生方との意見交換の場が設けられていて、とても役に立った。（藤島高校・2 年）

教員の声

- 大変刺激的でした。授業で実践されている学校の生徒さん達が、頑張っている様子を見て、自分も導入したいな、という気持ちが高まりました。ありがとうございました。（渋谷幕張高校・教員）
- 普段生徒に指導していることを、自分が実際にやってみるとなかなか難しく、学校の講座での声かけの仕方もより濃いものになるように感じた。学ぶことの多い合宿だった。（雲雀丘高校・教員）
- さすがに全国大会ということでレベルが高かった。教員ディーベートも刺激になりました。（大教大・教員）
- 初めての参加でしたが、充実した 2 日間ですごく勉強になりました。普段の授業では見ることが出来ない生徒の姿も見れて良かったです。（藤島高校・教員）
- 大変でしたが、勉強になりました。（松本深志高校・教員）

ご支援、ご協力いただきましたすべての皆様に心より感謝申し上げます。　　以上